

# 釧路市授業マイスター 「釧路市が目指す授業」実践レポート



令和7年11月18日大内拓哉先生（春採中）



令和7年11月18日大内拓哉先生（春採中）



令和7年11月18日大内拓哉先生（春採中）



令和7年11月27日尾形加奈子先生（菖野小）

春採中学校の大内拓哉先生は、中学校2年の数学の授業で、目標を「証明するための方針の立て方を知り、合同条件を成り立たせる根拠を見つけて、図形の性質が成り立つことを説明できる。」と設定しました。〔① 結論を示すためには何がわかれればよいか。②仮定からいえることは何か。③ ①と②を結び付けるには、あと何がいえればよいか。〕を考えるよう促し、証明の方針を立てていきました。

芦野小学校の尾形加奈子先生は、小学校6年の算数の授業で、目標を「比例の関係を活用した問題解決の方法を考え、表や式を用いて説明することができる」と設定しました。集団思考で、引き出した多様な考えについて、表のどこに着目して比例の関係を活用したのか共有した上で、振り返りで考えの共通点を問いかけ、「画用紙の重さが枚数に比例したこと」をまとめていきました。

事後研後に行われた授業マイスター交流会では、授業の目標達成に向かう授業にするためには、次の手立てを講じることが重要と確認されました。

- ① 大内拓哉先生の授業では、子供の表現したことを生かして、学びを深めていけるよう働きかけること。  
② 尾形加奈子先生の授業では、見いたした数量の重さと厚さでどちらを選ぶことが適切か考えられるよう働きかけること。